

署名パネルとは

電子契約は原本性を確保するため、PDFファイルに【いつ】【何を】【誰が】電子署名したのかという本人性や非改ざん性を検証可能な有効なデータを付与し、厳格な法的効力のある証拠として機能します。

具体的に付与するのは「電子署名」と「タイムスタンプ」です。

締結済みの書類は、Adobe 社製の無償でダウンロードできる PDF 閲覧ソフトウェアである「Acrobat Reader」で開き、「署名パネル」により「電子署名」と「タイムスタンプ」が付与されていることを確認できます。署名パネルに記されているパターンは下の図の通りです。

アイコン	メッセージ
パターン1	署名済みであり、全ての署名が有効です
パターン2	署名済みであり、全ての署名が有効です ただし、最終署名の後に署名されていない変更があります
パターン3	少なくとも1つの署名に問題があります
パターン4	無効な署名があります
パターン5	検証が必要な署名があります



● 有効性が保たれているデータとは

電子署名とタイムスタンプの2つが付与されているデータのこと

電子署名

電子署名法によって定められた本人による一定の署名で、手書き署名や捺印と同じ効果をなす署名方法です。
Great Signでは国際的な電子商取引認証局監査プログラム「WebTrust」の認証を受けたサイバートラスト株式会社(AATL登録済)が発行する電子署名証明書を使用しております。



【誰が】 【何を】 をに対応

タイムスタンプ

ある時刻にその電子データが間違なく存在していた事と、それ以降改ざんされていない事を証明する技術です。
Great Signのタイムスタンプは、時刻認証業務認定事業者のセイコーソリューションズ株式会社を利用しております。



【いつ】に対応

署名パネルの確認方法

電子契約ではハンコのマークや印影は必要ありません。Great Sign for Governmentで締結した書類のPDFファイルには電子署名とタイムスタンプが必ず付与されます。電子署名やタイムスタンプは、印刷した書類上で確認することはできません。**電子文書(PDFファイル)の「署名パネル」で必ず確認してください。**保存した電子契約書の電子署名、タイムスタンプの検証については、PDF閲覧ソフトウェアの「Acrobat Reader」で行います。

①締結が完了した書類をダウンロードし、「Adobe Acrobat Reader」で開きます。画面右上の「署名パネル」ボタンをクリックします。



②「署名パネル」がサイドに表示されます。



③「>」をクリックして詳細な情報を確認します。



表示されるバージョンの数は締結者数や利用するシステムによって異なります。タイムスタンプのバージョンは最後尾となります。

署名パネルの確認方法

④各バージョンの「署名の詳細」を開くと、送信側(自治体側)、受信側(事業者側)の署名者等を確認できます。

▼ バージョン 2 : TREASURY, Inc. により署名済み

署名は有効です：
信頼ソース取得元 : Adobe Approved Trust List (AATL)
文書は、この署名が適用されてから変更されていません
署名者のIDは有効です

署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。
④ 署名は LTV 対応です

▼ 署名の詳細

理由 : 株式会社東京 東京 花子様 xxxx@xx.jp が署名 2025-01-05 10:38:26 +0900
証明書の詳細...
最終チェック日時 : 2025.01.08 18:13:34 +09'00'

▼ バージョン 3 : TREASURY, Inc. により署名済み

署名は有効です：
信頼ソース取得元 : Adobe Approved Trust List (AATL)
文書は、この署名が適用されてから変更されていません
署名者のIDは有効です
署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。
署名は LTV 対応です

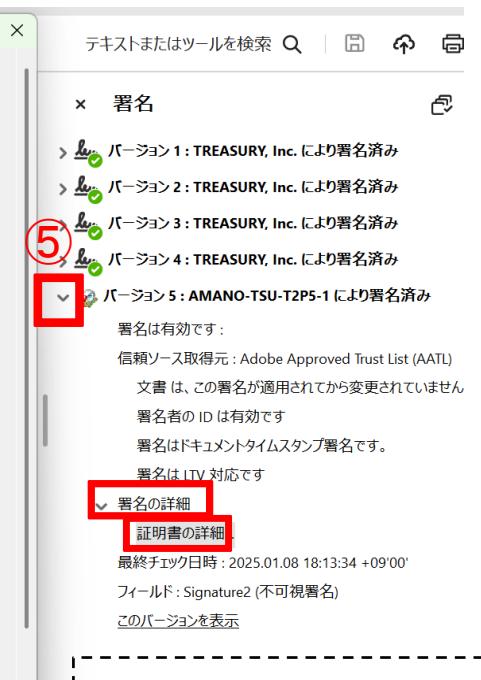
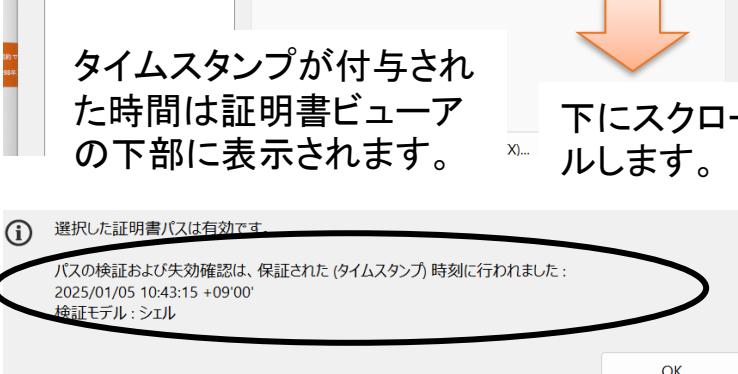
▼ 署名の詳細

理由 : 株式会社TREASURY みかん部 愛媛 太郎様 < aaaa@aa.jp > が署名 2025-01-05 10:43:04 +0900
証明書の詳細...
最終チェック日時 : 2025.01.08 18:13:34 +09'00'

フィールド : PDFL3 (不可視署名)
[このバージョンを表示](#)

▶ バージョン 4 : TREASURY, Inc. により署名済み

⑤タイムスタンプの「>」をクリックし、「署名の詳細」「証明書の詳細」を押すと「証明書ビューア」が立ち上がり、タイムスタンプの付与日時を確認できます。



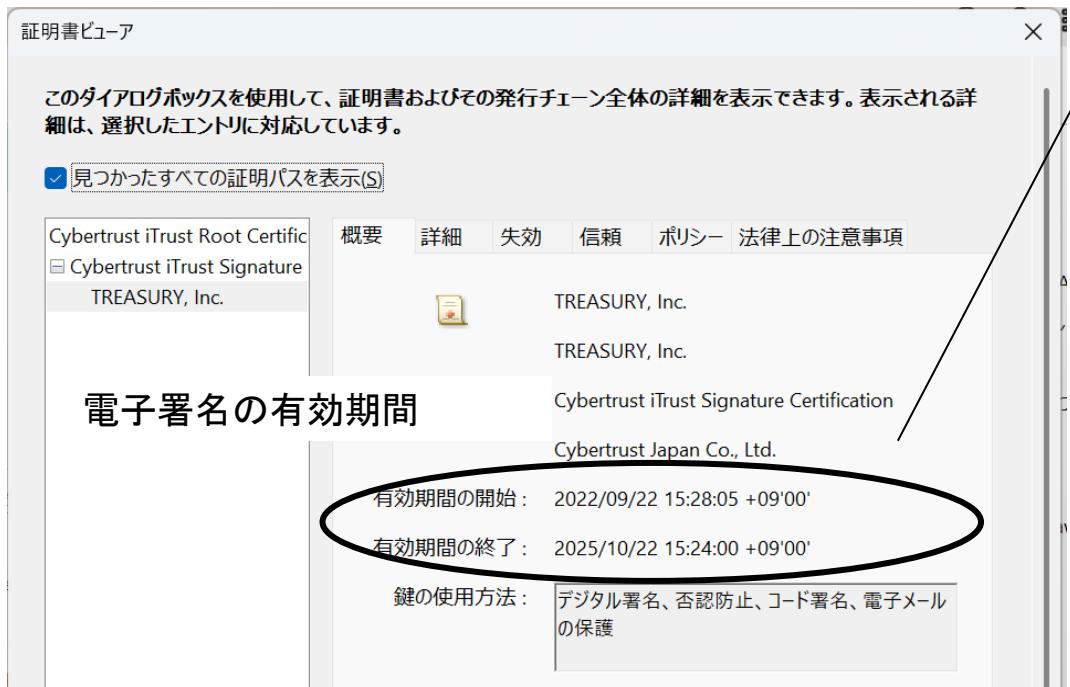
バージョン

バージョン

電子署名とタイムスタンプでは、アイコンの形が異なります。上が電子署名、下がタイムスタンプです。

署名パネルの確認方法

各バージョンの「証明書の詳細」をクリックして立ち上
がった「証明書ビューア」で、電子署名の有効期間等
を確認できます。



有効期間の開始: 2024/04/08 10:53:54 +09'00'
有効期間の終了: 2035/05/08 11:03:54 +09'00'

タイムスタンプの有効期間

▼ バージョン 3 : TREASURY, Inc. により署名済み

署名は有効です:

信頼ソース取得元: Adobe Approved Trust List (AATL)

文書は、この署名が適用されてから変更されていません

署名者のIDは有効です

署名時刻は署名者のコンピューターの時計に基づいています。

署名は LTV 対応です

▼ 署名の詳細

Great Sign for Government の署名はLTV対応となっています。LTVはLong-Term Validationの略です。電子署名がなされたPDFファイルに適切にタイムスタンプを付与すると、表示されるようになります。タイムスタンプを繰り返し追加することによって検証可能期間を延長し、長期間、安心して書類を保存できます。

電子契約の契約書類が法的効力を持続するには、電子署名を行った時に電子証明書が有効であったことなどが検証可能な必要があります。Great Sign for Governmentで付与される電子署名はAATL(Adobe Approved Trust List)、タイムスタンプはTSA(Time-Stamping Authority)から発行されたものを採用しています。有効期間は電子署名よりもタイムスタンプが長くなっていますが、無期限ではありません。そこで、タイムスタンプが有効期限を迎える前に、さらにタイムスタンプを付与するPAdES(PDF Advanced Electronic Signature)処理と呼ばれる長期署名の方法を用い、検証可能な有効期間を延長しています。

署名パネルの確認方法



バージョン 1: TREASURY, Inc. により署名済み

署名は無効です:

署名後、文書が変更されたか壊れています

署名者の証明書は有効期限が切れているか、まだ有効になっていないため無効です

文書の改ざん、無効な署名や不完全な署名などの場合、署名パネルを開くと、各バージョンは左記のように表示されます。アイコン部分が問題がなければ「緑」、完全性が不明な場合は「黄色」、無効な場合は「赤色」となります。[P15](#)の図を参照ください。



バージョン 2: TREASURY, Inc. により署名済み

署名の完全性は不明です:

文書は、この署名が適用されてから変更されていません

署名者の ID は信頼済み証明書の一覧に見つからず、親証明書も信頼済み証明書ではないので、この ID は不明です

それぞれ、無効な理由や完全性が不明な理由が表示されます。

The screenshot shows a list of signature versions for a document. The first item, 'バージョン 1 : TREASURY, Inc. により署名済み', is highlighted with a blue background. A dropdown menu is open next to it, containing the following options: '署名を検証(?)' (highlighted with a red oval), '署名バージョンを表示(?)', '署名バージョンと現在のバージョンを比較(?)', '検証情報の追加(?)', and '署名のプロパティを表示(?)...'. Below the dropdown, there's a section titled 'バージョン 1 : TREASURY, Inc. により署名済み' with the sub-section '署名の検証のステータス'.

The screenshot shows a list of signature versions for a document. The second item, 'バージョン 2 : TREASURY, Inc. により署名済み', is highlighted with a blue background. A dropdown menu is open next to it, containing the following options: '署名を検証(?)' (highlighted with a red oval), '署名バージョンを表示(?)', '署名バージョンと現在のバージョンを比較(?)', '検証情報の追加(?)', and '署名のプロパティを表示(?)...'. Below the dropdown, there's a section titled 'バージョン 2 : TREASURY, Inc. により署名済み' with the sub-section '署名の検証のステータス'.

バージョンを右クリックすることでも、署名を検証できます。署名が適用された後に文書が変更されていないことなどがわかります。

電子契約システム（Great Sign for Government）で取り交わされた契約期間中の契約を破棄、解除する場合には、契約解除合意書の作成を推奨しています。

電子契約の場合、電子署名やタイムスタンプが付与されたPDFファイルは、添付して送信しても、クラウドストレージなどにバックアップを保存しても、全てが原本となり、「複製」の概念がないためです。

当事者の方だけが破棄するリスクが考えられ、そのような場合に契約解除合意書を作成することで対処することができます。